

令和4年度

第3回 学校運営委員会

日 時 令和5年1月16日（月）18:00～

場 所 大麻小学校 会議室

◎学校運営委員<敬称略>

氏 名	住 所	電話番号	備 考

1. 開会

2. 校長挨拶

3. 経過報告

5月19日（木） 第1回学校運営委員会
※学校運営に係る承認を受ける→市教委へ報告

10月20日（木） 第2回学校運営委員会（含：授業参観）
※中間評価や全国学力・学習状況調査等の報告→市教委へ報告

4. 令和4年度学校評価について

(1) 経過

5月 6日（金） 第1回学校評価委員会（学校評価日程、中間評価計画等検討）

5月19日（木） **第1回学校運営委員会**（学校運営に係る承認）

6月13日（月） 第2回学校評価委員会（中間評価項目等検討）

6月15日（水） 6月定例職員会議（中間評価要領・項目について）

8月16日（火） 職員会議（中間評価検討）

10月 3日（月） 第3回学校評価委員会（年度末評価に向けての提案内容検討）

10月20日（木） **第2回学校運営委員会**（中間評価等の報告）

10月21日（金） 校務部会（11月16日の評価要領提案に向けて、評価項目等の検討）

11月 8日（火） 第4回学校評価委員会（評価項目等の協議）

11月16日（水） 年度末評価要領提案（研修日）

11月17日（木） 児童アンケート実施

- 11月18日(金) 保護者アンケート配信、教師アンケート配付
- 11月21日(月) 年度末評価(教職員)個人票配付
- 11月18日(月) 保護者アンケート、教師アンケート提出締切
年度末評価個人票提出締切
- 12月12日(月) 各部へ年度末評価集計配付
- 12月14日(水) 校務部会(各部の見解、改善策の検討)
- 12月23日(金) 各部の見解提出締切
- 1月13日(木) 職員会議(年度末評価会議)
学校関係者評価委員へ学校評価結果の送付
- 1月16日(月)** **第3回学校運営委員会**(学校見解の検討、意見交流)

(2) 今後の予定

- 1月18日(水) 職員会議(新年度学校経営方針提示、関係者評価対応)
- 1月25日(水) 校務部会(新年度計画)
- 2月1日(水) 職員会議(新年度計画会議)
- 2月24日(金) 保護者アンケート集約結果と見解のお知らせ(学校だよりにて)

5. 自己評価について

- (1) 達成状況の評価について
(パワーポイントによる説明)

- (2) 改善の方策について

1月13日の職員会議(学校評価・年度末反省)を受けて、改善の方策について記述しています。

6. 学校関係者評価(自己評価及び改善策への評価)

- (1) 自己評価の適切さの評価
* 項目の順番に評価

- (2) 改善策の適切さの評価
* 項目の順番に評価

- (3) 評価意見

7. その他

- (1) 次年度(令和5年度)の学校運営委員の委嘱について

令和4年度 江別市立大麻小学校 学校運営委員会



*令和5年1月16日(月)
*18:00~ 大麻小学校会議室 於

江別市立大麻小学校

今年度の重点教育目標

「すすんで取り組み、高め合う」大麻の子

～伝え合い 認め合い 高め合い～

	知識・理解	思考力・判断力 表現力	学びに向かう力 人間性
自ら学び、考えや思いを 生き生き表現できる子	・自ら進んで基 礎的な知識や技 能を身に付ける	・根拠を持って 主体的に説明で きる	・学びを振り返り、 学んだことを次の 課題や生活場面に 生かす
自らの目標を持ち、 最後までやりきる子	・自分の努力目 標を明確にする	・目標を達成す るために具体策 を考え・行動が できる	・よりよく目標達 成するために何を すべきか工夫する
自ら進んで元気に活動 できる子（挨拶・反応）	・集団生活を送る 上で規範意識の大 切さを理解する	・集団や自分の生 活を向上させるた めに、工夫して活 動や運動ができる	・健康で安全な生 活を目指し、主体 的に活動や運動に 挑戦する
思いやりの心で 自ら行動できる子	・相手の話・行動 を理解する	・多様な考え方 を認め合い、自 分たちで解決で きる	・思いやりをもっ て他者と関わり合 い、相手を尊重し た行動をする

学校経営の重点

～ 学 び 立 ち 向 か う 教 師 ～

*熱意をもって、事にあたる *誠意をもって、児童に接する
*創意をもって、指導に望む

- 教務部 「学ぶ喜び・確かな学力向上の推進」
- 研修部 『「学びに向かう力」を育てる
授業づくりの推進』
- 児童生活部 「自主的・自治的な集団づくりの推進」
- 健康安全部 「健康でたくましい心身づくりの推進」
- 管理・文化部 「安全・安心な落ち着いた環境づくりの推進」
- 教 頭 「連携・戦略」

評価項目

分野：経営方針の重点

年度末評価 評定

平均 4.43

- (1) 目標の明確化と共有、全教職員の創意ある活動、協働による教育目標の達成
- (2) 基礎基本の定着
- (3) 特別支援教育・生徒指導体制の充実
- (4) 職員の資質（教師力）向上の取り組み
- (5) 地域・保護者・関係機関との連携

評価基準

- ・「経営プログラム」具体策の可視化の実践。達成度の数値化（達成度8以上）。
- ・教務部の指示のもと日々の実践が行われているか。
- ・管理職と各部が日常的に密接に連携している実感があるか。
- ・研究主題に迫る研究授業を行い、総括しているか。
- ・学校の情報が地域と共有できているか。

「経営プログラム」活動目標・指導目標一覧

期	活動目標とキーワード	指導目標	指導項目
げんきにはい！	「集団行動のきまりを身に付けよう」 *大きな返事 すすんであいさつ *規範意識 *自律性 *集団行動（運動会） 4月7日～6月4日	■挨拶や礼儀、基本的な生活のきまりやリズムがしっかり身につくよう指導に努める。 ■運動会の取組を通し、指示をよく聞き、機敏に集団行動できるよう指導に努める。	◇挨拶・礼儀 ◇廊下歩行 ◇交通安全指導 ◇下校指導 ◇学習規律 ◇集団行動 ◇運動会の指導
	<大麻小スタンダードの取り組み> 約束を確認しよう		
すすんではい！	「学習に集中しよう」 *伝えきる話しきる聞ききる *学習規律 *家庭学習 *自主性 *体力づくり 6月7日～10月6日	■学習規律を徹底し、家庭学習の習慣化と自主的に学習に取り組む態度を育て、学力の向上に努める。 ■友達と元気良く外で遊んだり、進んで運動したりする態度を育て、体力の向上に努める。	◇学習規律 ◇家庭学習 ◇ノート指導 ◇体力づくり ◇健康・安全指導 ◇長縄大会
	<大麻小スタンダードの取り組み> 約束ができるようになろう。		
すすんではい！	「やさしい心を大切にしよう」 *意志をもつ *やさしさ *協調性 *達成感 *読書 *文化活動（学芸発表会） 10月11日～12月23日	■相手の気持ちになって考え言動できるよう、やさしさと思いやりの心を育む指導に努める。 ■学芸発表会の取組を通し、豊かな心情を養うとともに友達と協力する態度の育成や達成感・満足感を味わわせるよう指導に努める。	◇道徳指導 ◇読書指導 ◇学芸発表会の指導 ◇清掃指導
	<大麻小スタンダードの取り組み> 自分の力で約束を守ろう。		
さいごまではい！	「感謝の気持ちを行動で示そう」 *目的を明確にする *既習学習のまとめ *感謝 *ボランティア活動 *健康管理 *食育 1月16日～3月24日	■1年間の学習のまとめをしっかり行い、既習事項の定着度が高まるよう指導に努める。 ■1年を振り返り、お世話になった人や物へ感謝の気持ちを行動で示せるよう指導に努める。	◇既習事項の定着 ◇ボランティア活動 ◇健康管理 ◇食に関する指導 ◇卒業生を送る会の指導 ◇卒業証書授与式の指導
	<大麻小スタンダードの取り組み> 学習を見直し、約束を守ろう。		

大麻小スタンダード

学習 6つの約束

- ① 休み時間のうちに学習の準備をする。
出すものは、
教科書 ノート えんぴつ けしごむ
青色えんぴつ(ペン) 赤色えんぴつ(ペン)
定規 タブレット(必要などきのみ)
- ② チャイムが鳴り終わるまでに、静かに席に着く。
- ③ 名前を呼ばれたら、「はい。」と返事をする。
- ④ 正しい姿勢で学習する。
- ⑤ 正しい持ち方で鉛筆を持つ。
- ⑥ 話している人に体を向け、話を聞く。

第Ⅰ期 4月7日～6月4日

やくそく かくにん
約束を確認しよう。

第Ⅱ期 6月7日～10月6日

やくそく
約束ができるようになろう。

第Ⅲ期 10月11日～12月23日

じぶん ちから やくそく まも
自分の力で約束を守ろう。

第Ⅳ期 1月16日～3月24日

がくしゅう みとお やくそく まも
学習を見通し、約束を守ろう。

4 (資料②)

具体的取り組み

- 「経営プログラム」の実施と各学年での取組・総括
- 教務部による学力向上計画の実践
- 各会議に管理職が参加し体制の構築を図る
- 『「学びに向かう力・人間性」を育てる質の高い授業づくり』に向けた研究計画に基づく授業改善
- 学校運営委員会の適切な開催と学校を含めた

関係機関への積極的な情報発信



評価項目

分野：経営方針の重点

「すすんで取り組み、高め合う子」
～伝え合い 認め合い 高め合い～

○自ら学び、考えや思いを生き生き表現できる子

評価 平均 4.17

○自らの目標を持ち、最後までやりきる子

評価 平均 4.26

○自ら進んで元気に活動できる子（挨拶・反応）

評価 平均 3.91

○思いやりの心で自ら行動できる子

評価 平均 4.39

評価

各アンケート
「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」

* 「積極的に発表している」

・教職員	80.2%	(81.8%)
・児童	74.7%	(72.1%)

* 「勉強や活動などに、最後まであきらめないで取り組んでいる。」

・教職員	100.0%	(100.0%)
・保護者	82.4%	(84.9%)
・児童	97.0%	(94.4%)

* 「元気にあいさつをしている。」

・教職員	77.3%	(86.3%)
・保護者	85.6%	(86.4%)
・児童	92.2%	(90.7%)

* 「お互いの気持ちや立場を理解し…」 「豊かな心が…」

・教職員	95.5%	(86.4%)
・保護者	94.9%	(93.0%)
・児童	98.4%	(95.7%)

評価項目①

分野：教育課程・学習指導

年度末評価 評定

平均 4. 39

「学習指導要領への対応」

- * 学力向上の取組
- * 教育課程
- * 新型コロナウイルス感染症に関わる対応

具体的取り組み

- ◆ 新しい学校の生活様式に対応した
教育課程の編成と実施
- ◆ 算数の習熟度別指導・TTによる指導
個別指導の充実
- ◆ タブレット端末を中心としたICT機器の有効活用など、
授業改善の推進

評価

各アンケート

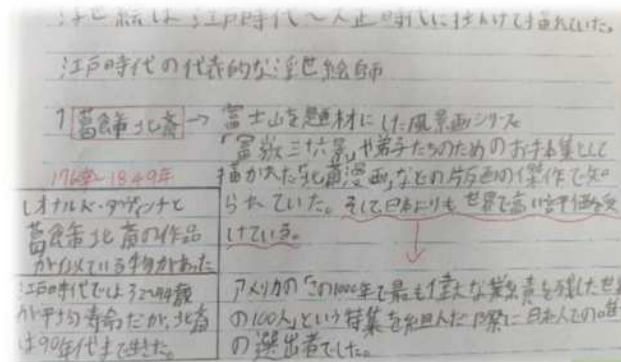
「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」

* 「学習したことを身につけている」「勉強は、よくわかる」

- ・教職員 95.5% (90.0%)
- ・児童 89.6% (90.4%)

* 「家庭学習が身につけている」

- ・教職員 95.4% (90.9%)
- ・保護者 72.2% (72.3%)



評価項目② 分野：生徒指導

年度末評価 評定
平均 4.56

「予防的・積極的生徒指導」

- * 学校いじめ防止基本方針に基づく取組
- * 生徒指導体制の強化
- * 安全指導

具体的取り組み

- ◆ 各種アンケートの実施による児童理解と情報収集
- ◆ 児童が主体となった取組み
「おもいやり集会・いじめをなくそう宣言」「あいさつ運動」
- ◆ 校外生活の過ごし方や交通安全の共通理解と指導
- ◆ 地域との情報共有と安全対策

評価

各アンケート
「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」

* 「元気にあいさつをしている。」

・教職員	77.3%	(86.3%)
・保護者	85.7%	(86.4%)
・児童	92.2%	(90.7%)

* 「お互いの気持ちや立場を理解し…」 「豊かな心が…」

・教職員	95.5%	(86.4%)
・保護者	94.9%	(93.0%)
・児童	98.4%	(95.7%)

* 「学校は、火災や地震、感染症対策など、
児童の安全確保の面で充分取り組んでいると思いますか。」

・保護者	87.7%	(90.5%)
------	-------	---------

評価項目③
分野：その他

年度末評価 評定
平均 4.52

「学びに向かう力」を育てる
授業づくり、学習づくり

- * 研究主題の解明に向けた計画的取組
- * 学校課題に即した研究内容
- * 学び続ける教師

具体的取り組み

- ◆ 児童の資質、能力を育む授業改善と学習環境づくり
- ◆ 基礎学力の確実な定着と検定の実施
- ◆ タブレット端末やICT機器の有効かつ活用に向けた研修

評 価

*教職員自己評価

○今年度に関わらず、計画的に研究や研修を進めていて、勉強になります。

○オンライン授業や宿題として学校での授業や家庭でもタブレットを活用させる必要があると分かった以上、全職員がオンライン授業を進められるよう、たった1年間で良いので、みっちりタブレット活用の実践的な研修をしてはどうでしょうか。色々な学校の研究授業や事後研でも、1人1台のタブレットを活用した効果的な実践が行われています。学校によっては1～6時間目までオンライン授業をしている状況もあるようです。本校5・6年生の活用法を見ていると、学習・生活両面で、児童への教育的効果も高いと思います。

評価項目④
分野：その他

年度末評価 評定
平均 4.43

「健やかな体を育む取組の工夫」

* 体力向上の取組

* 健康の増進に向けた取組

具体的取り組み

- ◆ 児童の安全・安心を最優先とした**体力向上**の取組の実施
(運動会・長縄大会)
- ◆ 運動への**意欲の向上**を目指した活動の実施
(全校での縄跳びの取組・週2回の全員遊び)
- ◆ 保健室の運営と様々な感染症に対する予防対策

評価

各アンケート

「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」

- * 「運動に進んでとりくみ、健康に気を付けて生活」
 - ・教職員 100% (100%)
- 「運動に対する興味や関心」
 - ・保護者 78.3% (86.1%)
- 「運動することは、楽しい。」
 - ・児童 93.8% (93.2%)
- * 「運動会や学芸発表会、参観日などの
行事の日程や内容等は、適切だと思いますか。」
 - ・保護者 93.2% (93.3%)
- * 「学校は、火災や地震、感染症対策など、
児童の安全確保の面で充分取り組んでいると思いますか。」
 - ・保護者 87.7% (90.5%)

評価項目⑤
分野：その他

年度末評価 評定
平均 4.43

「豊かで確実な情報の発信」

- * 効果的掲示
- * 学習環境整備
- * 読書活動の充実

具体的取り組み

- ◆子どもが学びの成果を表現、共有できる学芸発表会の実施
- ◆広く情報を発信するためのHP・ブログ更新
- ◆PTAボランティア活動との連携した読書活動の充実

評価

各アンケート

「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」

- * 「学校は、校舎内外の環境整備に
充分取り組んでいると思いますか。」
 - ・保護者 81.9% (87.6%)
- * 「運動会や学芸発表会、参観日などの
行事の日程や内容等は、適切だと思いますか。」
 - ・保護者 93.2% (93.3%)
- * 「運動会、学芸発表会などは、楽しい。」
 - ・児童 96.4% (93.8%)

評価項目⑥ 分野：その他

年度末評価 評定
平均 4.73

「連携」

* 組織としての実践

具体的取り組み

- ◆ 職員会議や日報でのよびかけ（情報の共有）
- ◆ 他機関との密接な連携・情報交流
- ◆ 報連相の徹底
- ◆ 各分掌部間の連携の調整

評価

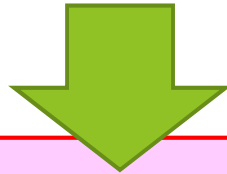
各アンケート

「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」

- * 「学校は、学校の様子（含：教育方針）を学校便り
学級通信やHPなどで、わかりやすく伝えていますか。」
 - ・ 保護者 93.5%（95.9%）
- * 「学校は、保護者の願いや期待に応えていると思いますか。」
 - ・ 保護者 91.7%（94.0%）
- * 「学校は、・・・家庭への連絡などの意思疎通を
十分に図っていますか。」
 - ・ 保護者 93.8%（94.0%）

今年度のP T A活動

可能な限り通常の教育活動を進めるために
⇒ 教育活動以外、可能な限り感染リスクの低減



各委員会の活動休止・最小限の活動

- 役員会
- 事務局による業務
- ボランティア活動の実施
読み聞かせ・図書・見守り

令和5年度に向け 役員選考と活動内容の検討

**学校関係者評価委員の皆様の
評価をよろしくお願いいたします。**

令和4年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和5年1月16日
江別市立大麻小学校

1. 本年度の重点目標

- ◎「すすんで取り組み、高め合う」大麻の子 ～伝え合い 認め合い 高め合い～
 ○自ら学び、考えや思いを生き生き表現できる子 ○自らの目標を持ち、最後までやりきる子
 ○自ら進んで元気に活動できる子（挨拶・反応） ○思いやりの心で自ら行動できる子

2. 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	◎「すすんで取り組み、高め合う」大麻の子 ～伝え合い 認め合い 高め合い～ ○進んで学び、考えや思いを生き生き表現できる子 ○自らの目標を持ち、最後までやりきる子 ○自ら進んで元気に活動できる子（挨拶・反応） ○思いやりの心で自ら行動できる子	B	「元気にはい」「進んではい」「最後まではい」のスローガンのもと、お互いの気持ちや立場を理解し、楽しく学校生活を過ごす児童の姿が多く見られた。人の話を聞き、きまりや約束を守ろうとする意識、係や委員会活動、行事等へ自己の責任を果たそうとするなど意欲的な参画意識を感じることができた。 しかし、自分の思いや考えを表現する、他者へ伝える力に相対的な課題が見られるので指導の工夫・改善を図っていく必要がある。学級経営・学力向上の全体計画に示されている具体策について、今一度共通理解を深め、全教職員が一体となって課題の解決に取り組んでいく。	A	A
教育課程 学習指導	①新学習指導要領への対応 * 学力向上の取組 * 教育課程 * 新型コロナウイルス感染症に関わる対応	A	「新しい学校の生活様式」に対応した教育活動や取組、学校行事の変更等、感染症対策を講じながら、教育課程を確実に進めることができた。実態の分析をもとに指導の重点化を図り、計画的に算数の習熟度別指導やTTによる指導、また個別指導の充実を進めてきた。今後も、タブレット端末の効果的な活用を図り、さらなる授業改善に取り組んでいく。学年ごとの学習検定を実施し、基礎基本のさらなる定着を図る。	A	A
生徒指導	②予防的・積極的生徒指導 * 学校いじめ防止基本方針に基づく取組 * 生徒指導体制の強化 * 安全指導	A	特別支援教育の視点から、一人一人の児童に寄り添い、心のケアに努める体制をとった。情報や具体的な対応などの共有化を図り、組織的に迅速な対応を図ることができた。児童会では、「おもいやり集会・いじめをなくそう宣言」「あいさつ運動」など、児童が主体となって取組を進めることができた。また、校区内の商業施設や店舗、関係機関との情報共有を図り、放課後の過ごし方や通学路等の安全対策を施した。今後も個々の児童の状況を的確に把握して対応する予防的生徒指導、積極的生徒指導、地域と連携した安全確保に全教職員で取り組み、環境を整えていく。	A	A

その他	③「学びに向かう力」を育てる 授業づくり、学習づくり ＊研究主題の解明に向けた 計画的取組 ＊学校課題に即した研究内容 ＊学び続ける教師	A	各学年の授業実践をもとに、「学びに向かう力」を育てる授業改善、学習環境づくりを進めることができた。タブレット端末の導入に伴いデジタルドリルの研修を開催するなど、効果的な活用方法を交流する等、実践力を高めてきた。今後も学校課題に対応した研修、質の高い授業づくりをめざして組織的・協働的に授業研究を進めていく。	A	A
	④健やかな体を育む取組の工夫 ＊体力向上の取組 ＊健康の増進に向けた取組	A	児童の安全・安心を最優先に諸活動を計画、実施することができた。運動会では、感染症対策を施した中で、今年度も全校よさこいを取り入れ、異学年での学び合いのよさを生かしながら活動を進めることができた。縄跳びの取組では、目標・内容の視覚化など、児童が意欲的に練習に取り組むことのできる環境づくりを工夫し、長縄大会を実施した。学級としての取組みにより、仲間と切磋琢磨し、体を動かすことの楽しさを味わわせることができた。今後も、全校で実施した新体力テストの結果をもとに、日常から体力向上と健康の増進について、全校が同じ目標に向かって活動することができるよう工夫を図っていく。	A	A
	⑤豊か・確実な情報の発信 ＊効果的掲示 ＊読書活動の充実 ＊学習環境整備	A	メール配信システム、ホームページを活用し、様々な情報の発信と集約等、保護者との双方向の情報交換を行った。また、校門横の掲示板を活用し、学校便り等を掲示することで、地域への教育活動の周知を図った。PTAによる図書ボランティアはコロナ禍においても、実施方法を工夫するなど、大麻小の児童のためにと、充実した取組を進めることができた。今後も、必要に応じてメール配信システム、学校・学級だよりなどの様々な手段を活用して、保護者や地域住民に充実した情報を発信できるよう努めていく。	A	A
	⑥連携 ＊組織としての実践	A	感染症対策や通学路の安全確保、気象状況に関わる対応や日常的な情報発信など、児童の安全・安心を最優先に、保護者や地域、関係機関との連絡調整を図ってきた。喫緊の課題に対し、校内組織を機動的に活用し、対応することができた。また、毎月の職員会議でミニ研修を行い、教職員の資質向上に努めることができた。今後も、適切な情報収集とともに目標の進行管理を行い、組織的な対応のさらなる充実を図っていく。	A	A

【評点】 A：よい B：おおむねよい C：ややよくない D：よくない

第3回 学校運営委員会 会議録

1月16日（月） 18：00～ 大麻小学校 会議室

出席8名

会議にて出された主な意見

①令和4年度学校評価について

・自己評価について、本校の達成状況の評価、改善の方策について適切である。達成状況がBの項目も、できてないわけではなく、まだまだ向上するという期待からの評価結果だと考える。

②次年度に向けて

・コロナ禍の時代、先生方が苦勞しているのがわかる。子どもたちも我慢をしながら生活をしているようだが、明るい未来に向かって先生方が指導してくださっているのがありがたい。これからも頑張っていたきたい。

・毎月発行の学校便りの校長先生の言葉が保護者への学びにつながっている。

・基礎基本をどのように定着させるかが大切であるが、「大麻小スタンダード」を6年かけて指導をしていることが子どもたちの将来の財産となっている。これからも続けて頑張っていたきたい。

